

今週の展示

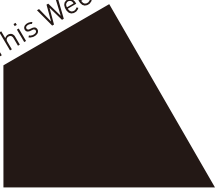
認知症と共に 未来に向けて

全国組織「認知症の人と家族の会」
発祥の地であり、京丹後市における
「認知症とともに生きるまちづくり条例」の施行など
認知症になっても安心して暮らせる未来に向けて
取組を進める京都とともに、
認知症について考えてみませんか。

いのち

Life

This Week's Exhibition



Living with Dementia, Looking to the Future.

Kyoto is the birthplace of the nationwide organization “Alzheimer’s Association Japan” and in Kyotango City, “the ordinance for creating a community that lives together with dementia” has been enacted.

Would you like to think about dementia, together with Kyoto, which is working towards a future where people can live with peace of mind even after developing dementia.

1-1

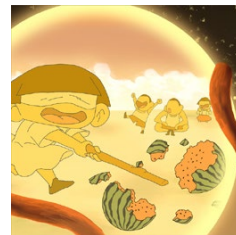
認知症への理解促進を目的としたアニメーション 『思い出おりがみ』

展示作品

今や多くの人にとって認知症は他人事ではありません。
しかし、そのメカニズムはあまり知られていないように思われます。
『思い出おりがみ』と題した本アニメーションは、
認知症のメカニズムへの理解の促進を目的とし、
認知症を知るきっかけとなるよう制作しました。
認知症になったおばあちゃんとその孫のタカシの物語を
全4篇で構成しています。
タカシとともに、おばあちゃんの脳内の世界と現実世界を行き来する中で、
認知症がどういったものなのかを少しでも知っていただき、
認知症に対する固定観念を取り払うことができれば幸いです。



京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
京都市左京区松ヶ崎橋上町



1-2

『思い出おりがみ』<エピソード0>

「孫が来た！ 未知なる冒険への旅路」

あらすじ

物語はおばあちゃんの脳内の世界から始まります。
記憶の入った荷物が所狭しと並んでいる倉庫で、
妖精たちが何かを探しています。
あたりを見渡すと、倉庫の一部がなぜか激しく損壊しています。
一方、現実世界では、
主人公のタカシが遠くに住むおばあちゃんを訪ねると、
おばあちゃんはタカシのことを思い出せなくなっていました。
タカシが困惑し「思い出して」と言いながら
おばあちゃんの肩を激しく揺らすと、
突然おばあちゃんの頭が開き、
タカシは脳内の世界へ吸い込まれてしまいます。



京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
京都市左京区松ヶ崎橋上町

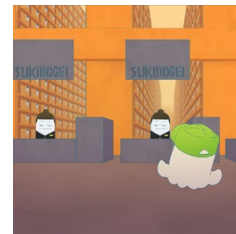
1-3

『思い出おりがみ』<エピソード1>

「おばあちゃんの記憶倉庫と認知症」

あらすじ

おばあちゃんの脳内の世界に迷い込んだタカシは、
おばあちゃんが認知症になっていて、
記憶倉庫の損壊が認知症の原因となっていることを知ります。
妖精たちはおばあちゃんにタカシのことを思い出させるため、
タカシに関する記憶を探していたのです。
タカシは自分に関する記憶を探すため、
妖精たちに連れられて、記憶を管理している上層階へ向かいます。
そこで古い記憶を保管している地下の大倉庫を教えてもらった彼らは
地下の大倉庫を目指します。



京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
京都市左京区松ヶ崎橋上町

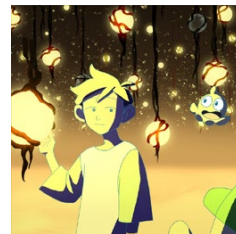
1-4

『思い出おりがみ』<エピソード2>

「記憶を探せ！ 立ちはだかる大倉庫」

あらすじ

大倉庫には古い記憶が保管されていて、
現在のおばあちゃんの感情とリンクするものが光っています。
タカシと妖精たちはタカシに関する記憶を探しますが、
記憶が多すぎてなかなか見つけることができません。
さらに、ふとしたタカシの発言がきっかけで、
タカシは現実世界に引き戻されてしまいます。
おばあちゃんにタカシとの楽しかった記憶を思い出させるため、
タカシは現実世界でおばあちゃんを楽しい気持ちにする作戦を取ります。



京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
京都市左京区松ヶ崎橋上町

1-5

『思い出おりがみ』<エピソード3>

「思い出をつむぐあの夏のおりがみ」

あらすじ

タカシは一枚の折り紙が落ちているのを見つけ、
タカシとおばあちゃんは他愛もない会話をしながら
折り紙を楽しみます。

器用にたくさんの折り紙を完成させていくタカシを見たおばあちゃんは、
タカシが幼い頃に一緒に折り紙で遊んだことを思い出します。

すると、おばあちゃんは、思い出せなかったはずのタカシの名前を
いつの間にか思い出していました。

タカシは、自分の名前を呼んでもらえたことに
静かに喜びを噛み締めるのでした。



京都工芸繊維大学 中野デザイン研究室
京都市左京区松ヶ崎橋上町

2-1

オレンジの樹～スタンプでつなぐ「言の葉」体験～

展示作品

言の葉を刻んだスタンプを短冊に押し、
認知症のシンボルカラー「オレンジ」にちなんだ「オレンジの樹」を、
皆さんの手で一緒に実らせていきましょう。



「言の葉」をつなごう

認知症のシンボルカラー「オレンジ」にちなんだ「オレンジの樹」を育てて「言の葉」をつなぎ、認知症に対する理解とつながりを一緒に育てていきませんか。



公益社団法人認知症の人と家族の会
京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F

2-2

全国組織の「認知症の人と家族の会」の取り組み

展示作品

1980年に認知症の人を介護する家族によって京都で結成し、今年45周年を迎えました。
「認知症になっても安心して暮らせる社会」の実現という理念のもと活動している全国組織です。
認知症の人だけではなく、
その家族へのサポートもおこなっており、
介護家族、認知症の人だけでなく、どなたでも入会出来ます。

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」

国際アルツハイマー病協会（ADI）が認知症への理解をすすめ、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定しました。「家族の会」は今年も全国各地で啓発活動に取り組み、9月21日（日）19時からはYouTubeでオレンジライトアップのリレー中継なども行います。京都ゾーンでの取り組みも中継予定ですので、ご覧ください。



公益社団法人認知症の人と家族の会
京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F

3

高齢者や認知症の人と一緒に織った裂織作品

展示作品

裂き織りは、布を細かく裂いて緯糸(よこいと)とし、織り込んで新たな布に再生する技法。

「この布にもう一度意味を持たせたい」と思い、裂き織りにたどり着きました。捨てられるはずだった生地が誰かを笑顔にします。

ただの布を裂くことが、人の記憶を解きほぐす

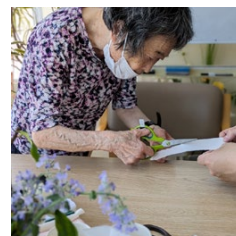
手元から役割と記憶の回復が始まりました。昔の記憶を呼び起こすように自ら裂き、織り、仕上げていきました。「若いころに西陣織りで帯を織っていた」「昔、洋裁学校に通っていたの」などの話を聞くことができました。

記憶を裂き織りで紡ぐ「TUMUGIプロジェクト」

「社会貢献」や「福祉」という概念に捉われないプロジェクト。認知症の人を『助ける』のではなく『その人と一緒に在る』という選択肢を体現していくなかで記憶だけではなく、誇りの回復に繋がたいと考えています。



NPO法人地域共生開発機構ともつく
京都市右京区嵯峨関空寺岡崎町15-8



4-1

旅のせんぱいA.I.の開発背景

展示作品

旅のせんぱいA.I.は、京都府内初、認知症条例を制定した京丹後市と認知症世界の歩き方プロジェクトを運営するissue+designが共同開発したA.I.相談サービスです。

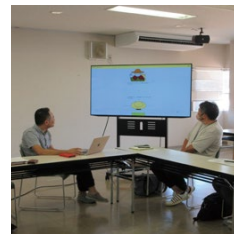


京丹後市認知症とともに生きるまちづくり条例

全ての市民が認知症の有無に関わらず、安心していきいきと暮らすことができる地域共生社会の実現に寄与するを目的に制定されました。



京丹後市/特定非営利活動法人issue+design
京丹後市峰山町杉谷889/東京都文京区千駄木2丁目40-12

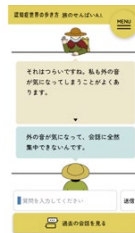


4-2

認知症を気軽に相談できる 「旅のせんぱいA.I.」

展示作品

暮らしの困りごとや工夫など、
認知症のあるご本人の語りを学習したA.I.です。
認知症の気になることなどを気軽に尋ねることで、
不安の解消や理解の促進につながります。



寄り添う「旅のせんぱいA.I.」

認知症のあるご本人、家族、支援者、認知症に関心のある方など、幅広く使い利用者ごとの立場に寄り添う姿勢を備えています。



京丹後市/特定非営利活動法人issue+design
京丹後市峰山町杉谷889/東京都文京区千駄木2丁目40-12

京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。

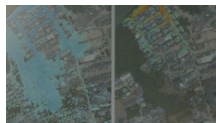


映像紹介



1935年6月の水害で 大破した三条大橋

撮影地：提供素材
協力者：京都府



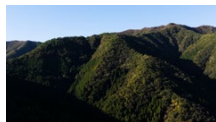
災害シミュレーション

撮影地：京都大学防災研究所
宇治川オープンラボラトリー
（京都市伏見区）
協力者：京都大学防災研究所



災害シミュレーション

撮影地：京都大学防災研究所
宇治川オープンラボラトリー
（京都市伏見区）
協力者：京都大学防災研究所



山並み

撮影地：美山虹之湖付近（南丹市）



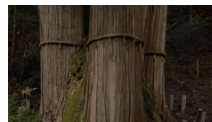
鍼灸

撮影地：MIYAMA 森の湯治場（南丹市）
協力者：美山里山舎



杉の芽

撮影地：京都市右京区京北



花背の三本杉

撮影地：京都市左京区花背



おじいちゃんとおばあちゃんの顔

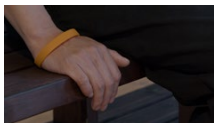
撮影地：京丹後市弥栄町（京丹後市）
協力者：いやさか吉野地域づくり協議会

映像紹介



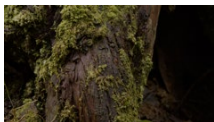
おばあちゃんの手

撮影地：京丹後市弥栄町(京丹後市)
協力者：いやさか吉野地域づくり協議会



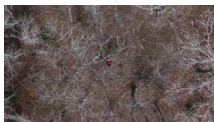
オレンジリング

撮影地：スタジオ



八幡宮大杉の根元を這う蟻

撮影地：中川八幡宮社(京都市北区中川町)



ハイカー

撮影地：るり渓深山ハイキングコース
(南丹市)



ストレッチする家族

撮影地：MIYAMA 森の湯治場(南丹市)
協力者：美山里山舎



融通念仏縁起絵巻(清凉寺本)

撮影地：提供素材
協力者：「重文 融通念仏縁起(下巻)」
(清凉寺所蔵、画像提供 奈良国立博物館)



京都府立医科大学 大正4年

撮影地：提供素材
協力者：京都府立医科大学



京都府立医科大学 大正4年

撮影地：提供素材
協力者：京都府立医科大学

映像紹介



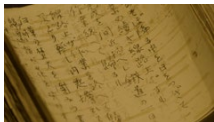
コーリャン粥

撮影地：スタジオ



薪ストーブ

撮影地：スタジオ



白樺日誌

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館



**舞鶴引揚記念館の壁に
掲載されている写真**

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館



**引揚港舞鶴の当時の様子を
再現したジオラマ**

撮影地：舞鶴引揚記念館（舞鶴市）

協力者：舞鶴引揚記念館

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会